

平成 23 年度

三重大学教育学部附属教育実践総合センター年報

所在地：〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

電話 059-231-9339 FAX 059-231-9343

URL <http://cerp.edu.mie-u.ac.jp>

構成員（平成 24 年 2 月 29 日現在）：

センター長（併） 教 授 早瀬 光秋 英語教育学（hayase@edu.mie-u.ac.jp、 059-231-9339）

専任教員

教育工学部門 教 授 下村 勉 教育工学（simomura@edu.mie-u.ac.jp、 059-231-9340）

教育実践研究部門 教 授 須曽野仁志 教育実践学（susono@edu.mie-u.ac.jp、 059-231-9341）

教育臨床研究部門 准 教授 岡田 珠江* 臨床心理学（t-okada@edu.mie-u.ac.jp、 059-231-9250）

（*平成23年度は休業中）

客員教員 客員教授 男山 佳子

事務補佐員 大平 幸枝（ohira@salon.edu.mie-u.ac.jp、 059-231-9339）

■ 学内での年間活動状況

a) センター主催・共催の研究会・研修会

名 称	概 要	時 期	期間	対 象	回 数	参加者数
センター主催 iCERP （アイサーブ）研究会	部門、学部、附属の連 携のための研究会 2004 年度から継続	2011.8 ～ 2012.3	1 年	学部・附属・ 他	年 4 回	延べ 約 150 名
学習支援研究会（第 308 回～第 319 回）	月例会での研究・実践 の発表と討論 1985 年度から継続	2011.4 ～ 2012.3	1 年	学校教育関係 者	年 12 回	平均 16 名 延べ 約 190 名
三重インターネット教育 利用研究会（MIEUP）	メーリングリストによ る交流	2010.4 ～ 2012.3	1 年	学校教育関係 者		登録者 約 40 名
センター主催 教育臨床 研修講座・交流会	教育臨床にかかわる実 践の交流	2010.4 ～ 2012.1	1 年	県内学校園	年 6 回	登録約 10 名、 延べ 60 名
国際教育推進プログラム （津市・三重県教育委員 会・三重大学・NPO 等 の共同プロジェクト）	三重大学における「パ ンゲア」活動	2012.6 ～ 2012.3	1 年	学部・大学院 生・津市内児 童生徒	年 10 回	毎回 約 50 名
三重大学アカデミックフェ ア 2012（共催）	ポスターセッションコー ディネーター	2012. 2.14	1 日	学生・教職員・ 一般市民	1 回	約 260 名

b) センター専任教員の学部・大学院教育への参与状況

● 学部担当授業					
担 当 教 員 名	授 業 科 目 名	コマ数	人 数	学 期	備 考
下村 勉	教育工学	1 コマ	24 名	後期	
下村 勉	教育工学演習、メディアリ テラシーと情報表現 I	1 コマ	20 名	前期	
下村 勉	情報処理講究 I	1 コマ	6 名	通年	
下村 勉・須曽野仁志	情報科教育法	1 コマ	18 名	通年	
須曽野仁志	教育工学	1 コマ	105 名	前期	
須曽野仁志	教育実践演習、メディアリ テラシーと情報表現 2	1 コマ	10 名	後期	
須曽野仁志	情報処理講究 II	1 コマ	4 名	通年	

● 大学院担当授業						
下村 勉	教育工学特論	1 コマ	16 名	前期		
下村 勉	学校教育特別研究Ⅰ	1 コマ	16 名	後期		
下村 勉	課題研究Ⅰ	1 コマ	1 名	後期		
下村 勉	課題研究Ⅱ、Ⅲ	1 コマ	1 名	前後期		
須曾野仁志	学習支援特論	1 コマ	12 名	前期		
須曾野仁志	学習支援特論演習	1 コマ	5 名	後期		
須曾野仁志	課題研究Ⅰ	1 コマ	2 名	前後期		

【学 部】○卒業研究生受け入れ・卒業論文指導

情報教育課程 2 年生：4 名、3 年生：4 名、4 年生：4 名、計 12 名)

【大学院】○大学院生の修士論文指導 4 名

【教員免許更新講習】○必修講習 講師 7 回 選択講習 4 回 (下村 1 回、須曾野 3 回)

【その他】 高等教育創造開発センター教育開発部門 兼任

■ 対外的な教育・研究活動状況

a) 都道府県／市町村／公立学校等との協同事業による研究会・研修会

名 称	概 要	時 期	期間	対 象	回 数	人 数
情報教育教員内地留学生	県教育委員会派遣の教員の受け入れ	2011.4～2012.3	1 年	学校教員		2 名
教育臨床教員内地留学生	県教育委員会派遣の教員の受け入れ	2011.4～2012.3	1 年	学校教員		3 名
津市内小学校対象デジタルストーリーテリング支援	DST 制作支援・制作用マイクなど貸し出し・学生派遣	2011.4～2012.3	1 年	学校教員・児童	10 回	100 名
三重キャリア研究会	発表「能動的学習を推進する ICT 活用教育の展開」	2011.5.21	1 日	教員・一般市民	1 回	15 名
四日市市立楠小学校の授業支援（スクラッチによる作品作り）	図画工作におけるスクラッチを利用した作品作り（テーマ：運動会の思い出）	2011.6～2011.7	2 ヶ月	小学 5 年生	10 回	120 名
熟議 2011 in 三重大学	開催協力（Moodle を用いた情報共有、他）	2011.7.16	1 日	学生・教職員・一般市民	1 回	
津市教委主催研修会	津市立学校教員のためのデジタルストーリーテリング制作支援	2011.8.8	1 日	学校教員	1 回	25 名
三重県立津商業高等学校活動支援	高校生と小学生によるデジタルストーリーテリング制作支援	2011.8.17, 8.19	2 日	高校生、小学生児童、保護者	2 回	30 名
四日市市立楠小学校の授業支援（スクイーク作品交流会を含む）	「総合的な学習の時間」における Squeak 活用授業の支援	2011.9.22	1 日	児童・学生	1 回＋随時	120 名＋8 名
三重県立津西高校への支援	スーパーサイエンススクール事業での高校生プレゼンテーション指導	2011.9.26	1 日	高校生、	1 回	20 名
三重県高等学校視聴覚教育研究大会	基調講演「学習者の思考力育成と協同的な学びを推進する ICT 活用授業の創造」	2011.11.15	1 日	学校教員	1 回	50 名
津市立栗真小学校への支援学生の派遣	2 年生「生活科」：パソコンによる名刺づく	2012.1.19	1 日	児童・学生	1 回	21＋23 名

名 称	概 要	時 期	期間	対 象	回 数	人 数
	り支援					
津市教育研究集会冬季一 斉部会中ブロック情報教 育部会	実践研究に対する講評・ 助言	2012. 2.1	1 日	学校教員	1 回	40 名
三重大学アカデミックフェ アポスターセッション出 展	内地留学生・卒研生の 研究成果をポスター展 示	2012. 2.14	1 日	一般市民・学 生・教員	1 回	7 件

- b) 教育臨床部門専任教員による公立学校等へのカウンセリング／コンサルテーション活動状況
- ・教育臨床部門専任教員の休業につき、平成 23 年度は教育実践総合センター心理相談業務を中止した。

c) その他

- ・国立大学教育実践研究関連センター協議会会長
- ・国立大学教育実践研究関連センター協議会国際協力幹事
- ・志摩市テレトピア推進協議会委員
- ・平成 23 年度統計グラフ三重県コンクール「パソコンの部」に学生が 8 点出品（6 点が入賞）
- ・平成 23 年度統計グラフ全国コンクール「パソコンの部」に学生が 4 点出品
- ・三重大学教育実践総合センターの紹介パンフレットの更新
- ・三重大学教育実践総合センター紀要 32 号の発行（年 1 回）
- ・三重大学教育実践総合センター Web サイトの更新（毎月 1 回以上）

■ センターの外部資金導入状況

a) センター専任教員が研究代表の科研費受給状況

助 成 金 名 称	研 究 題 目	本年度金額	研究期間	研究代表者
基盤研究（C）	思考力・表現力と意欲を高める Web 2.0 的な ICT 活用授業の開発と評価	100 万円	2010 ～ 2012 年度	下村 勉
基盤研究（C）	言語活動の充実と生き方学習につなげるデ ジタルストーリーテリング手紙制作と授業 設計	150 万円	2011 ～ 2013 年度	須曾野仁志

b) センター専任教員あるいはセンターとして受給した学内 GP 等

助 成 金 名 称	研 究 題 目	本年度金額	研究期間	研究代表者
三重大学国際交流事業経 費助成	答礼人形ミス三重を題材とした国際理解教 育——三重大学と米国ネブラスカ大学と の「青い目の人形」と「ミス三重」を通し た国際交流	30 万	2011 年度	須曾野仁志
大学教育・学生支援推進 事業【テーマ A】	隣接学校園との連携を核とした教育モデル		2009 ～ 2011 年度	後藤太一郎